吸入（薬液）

医療的ケア実施マニュアル

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名（性別） | （　　　　　　） | 学年 |  |

【準備・手順】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施内容 | 吸入（薬液） | |
| 実施手順 | | 留意事項 |
| 必要物品 | ※手洗いをし、必要物品を準備する。  吸入器　吸入口またはマスク　接続チューブ　時計　速効性手指消毒剤  ＜吸入薬液＞  朝（1回目）：A吸入液1本（0.5mg）　B吸入液1本（2ml）　C吸入液3滴  昼（2回目）：B吸入液1本（2ml）　C吸入液3滴 | |
| 準　備 | 1. 登校時の確認   ・児童生徒の体調と、登校前の夜間、朝方等に  　吸入した場合は、その時間を確認する。   1. 保護者から依頼があったときに実施する。   ・呼吸状態、喘鳴の有無、顔色など、観察する。  ・喘鳴や痰がある場合は事前に吸引する。  ・本人の姿勢を整える。   1. 手を洗う。（石けん、あるいは手指消毒剤） 2. 吸入器に薬液を入れる。 | ・自宅で薬液吸入を実施した  　際は、保護者に実施時間を  　連絡帳に記入してもらう。  ・1回目と2回目は、3時間以  　上開けて実施する。  ・吸入液が本人のものか、薬  剤名と量を複数で確認す  る。 |
| 実　施 | 1. 本人に吸入すること伝え開始する。   ・吸入中の観察をする。  ・鼻腔や口腔内に痰が貯留した場合は、一時中  断して吸引する。  ・薬液がなくなったら終了する。  ・本人に吸入が終わったことを伝える。   * 看護師のみの実施となる。 | ・呼吸状態、喘鳴の有無、顔色  などを確認する。  ・実施後30分は飲食を避け  る。  ・呼吸状態、喘鳴の有無、顔色  など継続して観察する。  ・使用薬剤の副作用として、  　心悸亢進、悪心嘔吐、手指  　振戦などに注意する。   * 予備の吸入液は保育室（教室）に保管する。 |
| 終　了 | 1. 使用物品を水洗いし、持ち帰る。 2. 連絡帳に記入する。 |  |

【緊急時対応】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| トラブル | 保育士（教員）の対応 | 看護師の対応 |
|  |  |  |
|  |  |  |

【緊急連絡先】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜連絡先＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 保護者 | （母）  （父） | －　　　　－  　　　－　　　　－ |
| 主治医 | 病院（小児科） | －　　　　－ |
| 救急搬送 |  | |
| その他 |  | |

（作成日）　令和　　　年　　　月　　　日

（作成者）

（保護者署名）